

農 研 速 報

令和元年9月11日発行
茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3402
TEL029-239-7212 FAX029-239-7306

麦の生育状況

地域名	麦種 (品種)	生育 ステージ	対平年 遅速	生育(作柄・品質)概況等
水 戸	11月5日播種 小麦 (さとのそら)	収穫済	やや早い	<p>気象概況: 麦類の生育期間(過去5年間の平均値との比較、図1) 平均気温: 11月(概ね播種から出芽期)はかなり高く、12月～2月(概ね出芽期から分げつ期)はやや低く、3月(概ね茎立期)は平年並、4月(概ね小麦の茎立期から出穂期)はかなり低く、5月～6月第4半旬(概ね小麦の出穂期から成熟期)はやや低かった。 降水量: 11月はやや少なく、12月～2月はかなり少なく、3月はやや少なく、4月はかなり少なく、5月～6月第4半旬はやや少なかった。</p> <p>日照時間: 11月はやや多く、12月～2月はかなり少なく、3月はかなり少なく、4月はやや多く、5月～6月第4半旬はかなり多かった。</p> <p>生育の概要(表1、図2) 11月5日播種では、平均気温は11月、1月下旬～2月で高かった。このため、主稈葉数および茎数は平年より多く推移した。草丈は2月までは平年並で、3月以降は平年よりやや長かった。出穂期は、大麦で平年より早く、小麦で遅かった。成熟期は、大麦で平年より遅く、小麦でやや早かった。穂数は、六条大麦で平年並だったが、小麦で平年より少なかった。整粒重は六条大麦で平年並だったが、小麦では平年より少なかった。 11月20日播種では、播種後の気温が低く、主稈葉数、茎数は平年を下回って推移した。出穂期は平年より遅く、成熟期はやや早かった。穂数、整粒重は平年を下回った。 各麦の生育概要は次のとおりであった。</p> <p>(11月5日播種) ●さとのそら 主稈葉数、茎数は4月まで平年より多く推移した。出穂期は平年より1日遅く、成熟期は3日早かった。 穂数は平年より少なく、一穂当たり稔実粒数はかなり多かった。 整粒重は49.4kg/aとやや軽かった。 千粒重、容積重はかなり軽く、タンパク質含有率はかなり低かった。</p> <p>●カシムムギ 主稈葉数は4月まで平年より多く推移した。茎数は平年並～やや多く推移した。出穂期は平年より3日早く、成熟期は2日遅かった。 穂数は平年並だが、一穂当たり稔実粒数がかなり少なかった。 整粒重は53.5kg/aとやや軽かった。 千粒重は重く、容積重はかなり重く、タンパク質含有率はかなり低かった。</p> <p>●カシマゴール 主稈葉数は4月まで平年よりやや多く推移した。茎数は2月まで平年よりやや多かったが、3月～4月は平年より少なく推移した。 出穂期は平年より4日早く、成熟期は同等だった。 穂数は平年並だが、一穂当たり稔実粒数がかなり少なかった。 整粒重は59.7kg/aで平年並だった。 千粒重は平年並で、容積重はかなり重く、タンパク質含有率はかなり低かった。</p> <p>(11月20日播種) ●さとのそら 主稈葉数、茎数は平年並～やや少なく推移した。出穂期は平年より2日遅く、成熟期は3日早かった。 穂数は平年よりやや少なく、一穂当たり稔実粒数は同等だった。 整粒重は44.4kg/aとかなり軽かった。 千粒重、容積重はかなり軽く、タンパク質含有率はかなり低かった。</p>
	六条大麦 (カシムムギ)	収穫済	やや遅い	
	(カシマゴール)	収穫済	平年並	
	11月20日播種 小麦 (さとのそら)	収穫済	やや早い	
			※対平年遅速 は、成熟期を 基に表記した。	

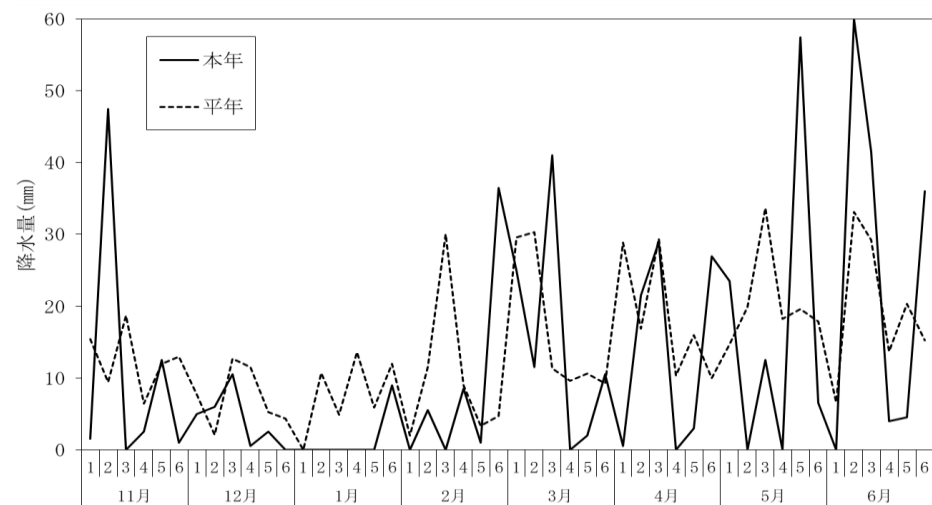
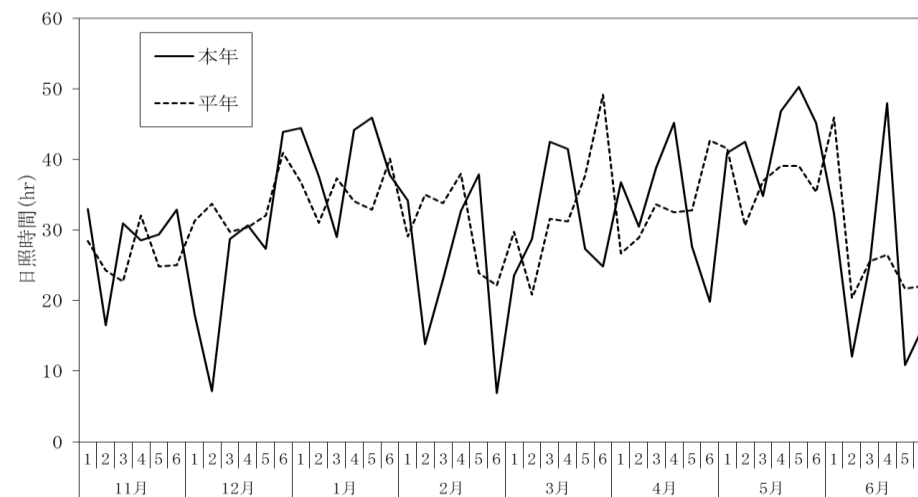
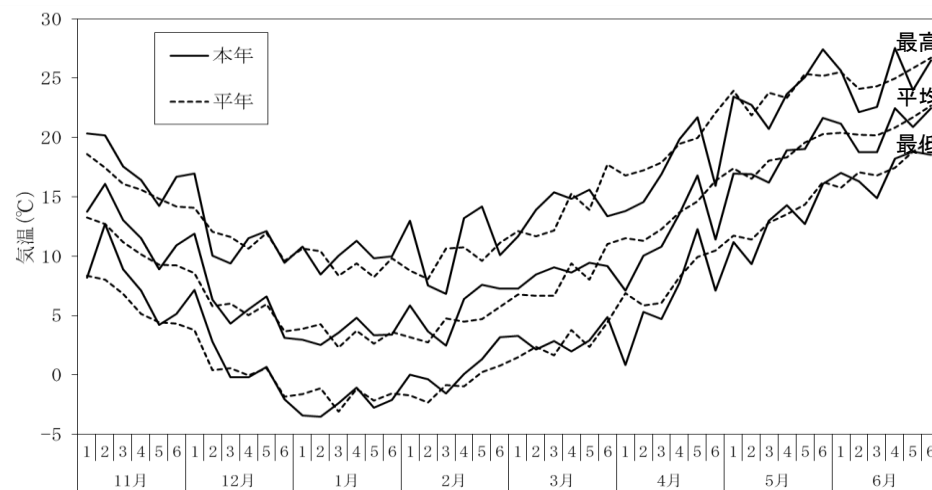


図1 平成30～31年半旬別気象経過図
(水戸地方気象台データを参考に作成。平年値は直近5年間の平均値。)

表1 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

播種期 (月.日)	麦種	品種名	出穂期			成熟期			登熟日数			稈 長			穂 長			穂 数		
			本 年 (月.日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本 年 (月.日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本 年 (日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)
11.5	小麦	さとのそら	4.20	+6	+1	6.03	+1	-3	44	-5	-3	79.4	98	92	7.6	86	87	698	104	92
	六条大麦	カシムムギ	4.09	+3	-3	5.25	+5	+2	46	+2	+6	83.4	100	93	4.0	95	95	608	133	103
		カシマゴール	4.06	+2	-4	5.23	+3	0	47	+1	+5	82.6	99	92	4.0	97	100	715	125	103
11.20	小麦	さとのそら	4.24	+6	+2	6.05	+1	-3	42	-5	-4	73.8	96	90	8.4	105	99	642	137	91

播種期 (月.日)	麦種	品種名	倒伏程度			一穂当たり稔実粒数			粗子実重			整粒重			整粒歩合		
			本 年	前 年	平 年	本 年 (粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (%)	前 年 (%)	平 年 (%)
11.5	小麦	さとのそら	0.0	0.0	0.0	32.4	114	117	49.9	93	84	49.4	93	84	99	99	99
	六条大麦	カシムムギ	1.0	0.0	1.0	44.5	93	85	55.7	92	86	53.5	95	96	96	93	86
		カシマゴール	0.0	0.0	1.0	42.7	96	90	63.3	93	91	59.7	99	108	94	89	79
11.20	小麦	さとのそら	0.0	0.0	0.0	29.7	115	104	45.4	93	78	44.4	92	77	98	99	99

播種期 (月.日)	麦種	品種名	千粒重			容積重			タンパク質含有率			外観品質			検査等級		
			本 年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (g/L)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (%)	前 年 (%)	平 年 (%)	本 年	前 年	平 年	本 年	前 年	前々年
11.5	小麦	さとのそら	36.8	86	89	814	98	98	10.2	11.1	11.4	6.0	5.0	5.3	1	1	1
	六条大麦	カシムムギ	33.0	99	106	764	103	106	9.0	9.9	10.3	5.0	4.0	5.1	1	1	1
		カシマゴール	31.2	100	102	763	104	106	8.7	9.0	9.7	5.0	5.0	5.5	1	1	2
11.20	小麦	さとのそら	33.2	78	84	803	96	96	10.3	11.4	11.2	6.0	5.0	5.4	1	1	1

播種期 (月.日)	麦種	品種名	本年 粒厚分布(重量%)							平年 粒厚分布(重量%)						
			2.8mm 以上	2.8～ 2.5	2.5～ 2.4	2.4～ 2.3	2.3～ 2.2	2.2～ 2.0	2.0mm 以下	2.8mm 以上	2.8～ 2.5	2.5～ 2.4	2.4～ 2.3	2.3～ 2.2	2.2～ 2.0	2.0mm 以下
11.5	小麦	さとのそら	50.7	39.7	6.8	1.7	0.5	0.4	0.1	64.1	28.3	5.2	1.2	0.7	0.4	0.1
	六条大麦	カシムムギ	8.7	45.8	26.8	10.8	4.0	3.1	0.9	4.4	34.1	25.5	13.9	8.2	9.9	3.9
		カシマゴール	9.0	40.3	29.4	10.9	4.8	4.3	1.3	2.1	23.4	25.4	18.0	10.3	13.6	7.1
11.20	小麦	さとのそら	43.3	40.6	11.3	2.6	1.0	0.9	0.1	58.3	31.4	7.2	1.7	0.7	0.7	0.1

注) 1) 圃場(来歴): 表層腐植質黒ボク土(前作休耕)

2) 播種量: 0.8kg/a

3) 施肥量: N-P₂O₅-K₂O=0.6-0.8-0.7kg/a

4) 播種様式: 畦幅30cm、シーダーテープ播種

5) 平年値: 平成25～29年播種の結果の平均。

6) 麦踏み: 12月3日(11月5日播種のみ)、12月25日、1月25日、2月13日。

7) 倒伏程度: 0(無)～5(甚)の6段階

8) 整粒重: 小麦は2.3mm、六条大麦は2.2mmの篩上の子実重。

9) 千粒重・容積重・タンパク質含有率はグレーダー調製後の整粒で計測した。

10) 粗子実重・整粒重・千粒重は、小麦が水分12.5%、六条大麦が水分13.0%に換算した。

11) タンパク質含有率は近赤外線多成分分析機(インフラテック1241型)による。水分13.5%換算。

12) 外観品質: 1(上の上)～9(下の下)

13) 検査等級: JA全農いばらき米穀部による。1: 1等、2: 2等、外: 等外

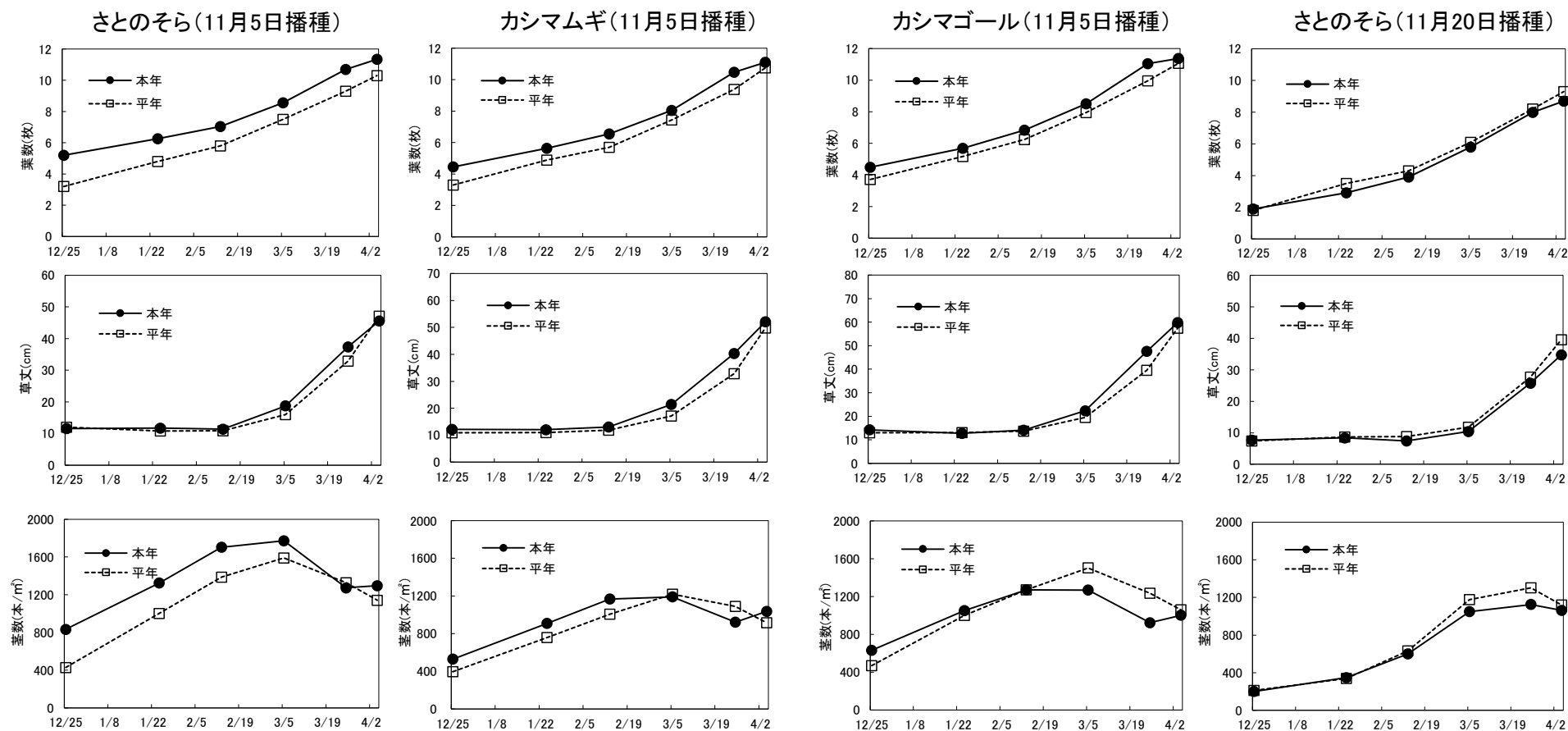


図2 葉数・草丈・茎数の推移

気象概況および生育状況における表現について

平年値（過去5年間の平均値）との違いの程度を、「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」等の階級区分で表しています。
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めています。
さらに、「低い（少ない）」、「高い（多い）」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

